



末社・大宮稻荷神社社殿改築 玉垣参道整備事業のお願い

なかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

君が代は 千代に八千代に
さざれ石の いわおとなりて
こけのおすまで

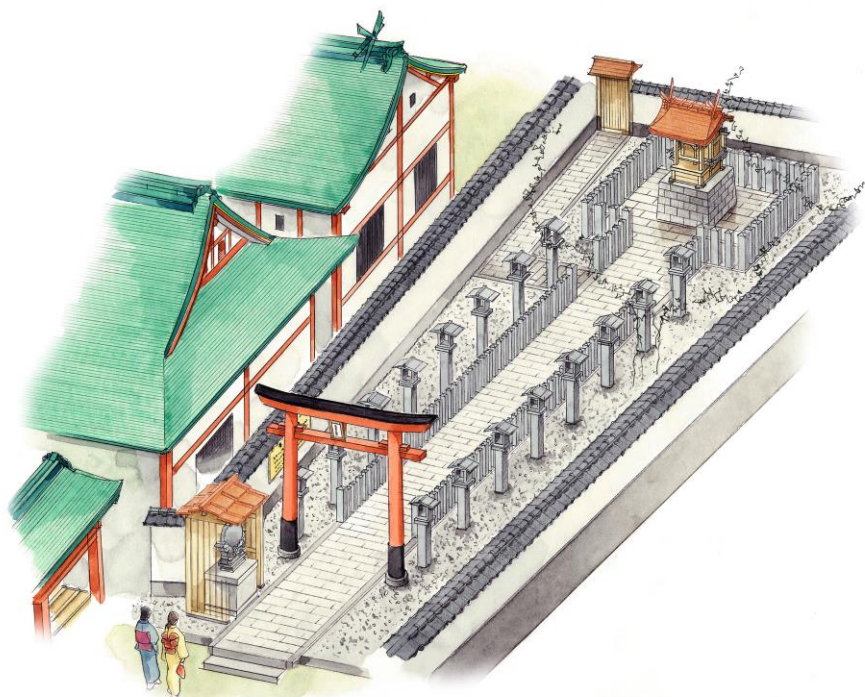
今年十月、泉州各地に大きな被害を及ぼした台風二十一号の影響により、大宮稻荷神社の鳥居三基がドミノ倒しになりました。原因は暴風によるものですが、上の写真のように鳥居の根元が老朽化のために朽ちており、根巻のコンクリート基礎により立っていた状態です。

今回の事業の着工は平成三十一年二月の予定ですが、今後の危険性を考え、十二月三日に氏子青年会の奉仕作業により、一番手前の鳥居を残して全て撤去いたしました。

さて、今回の事業につきましては、十月に事業趣意書をお配りさせて頂き、ご奉賛の受付を開始いたしましたところ、大変有難いことに多くの方々より早々にお申し出を頂いております。ご奉賛頂きました皆様には心より厚く御礼申し上げます。

なお、お正月・十日戎・節分と新年行事期間中も神社にて受付いたしておりますので、なるべく早めのお申し込みを頂きましたら有難く存じます。

また、別途一月〜二月にかけて改めてご依頼文をお配りさせて頂く予定もございます。お申し込み頂けます場合は神社総代が訪問させて頂きますので、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



第22号

平成29年
12月15日発行
奈加美神社

泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

事業概要

- ・大宮稻荷神社社殿改築
- ・伊勢神宮遥拝所新設
- ・石玉垣・石燈籠及び参道整備
- ・土塀改築・改修工事
- ・その他境内整備

事業予算

- ・三、五〇〇万円

募集要綱

- ・奉賛金 一口一万円（一口以上）
- ※御奉賛者全員の御芳名を銘板に刻み境内に掲示顕彰させて頂き
ます（真鍮又はステンレス製）
- ・石玉垣・石燈籠奉納者募集
- 石玉垣・小 一基十五万円 一〇〇基
- 石玉垣・大 一基三十万円 五十基
- 石燈籠 一基五十万円 三十基
- ※石玉垣・石燈籠には奉納者名を刻み顕彰させて頂きます

募集期間

- ・平成二十九年十月～

平成三十一年二月

お申込み方法

- ・奈加美神社、又は各地区総代まで
お問い合わせいたします

事業工期

- ・平成三十一年二月～

平成三十一年十月

お問合せ

- ・奈加美神社社務所

電話 四六二一七〇八〇

お知らせとお願い

今回の末社・大宮稻荷神社社殿改築・玉垣参道整備事業の石燈籠のお申し込みが十二月十日現在で二十五基となりました。石燈籠につきましては当初募集予定の十六基より三十基に、玉垣・大は三十基より五十基に増やさせて頂きました。現在の敷地ではこれが最大数となりますので、ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

なお、石玉垣・大小ともにまだ空きがございますので、なるべく早めのお申し込みを下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

お申し込みは神社にて承っておりますが、ご一報頂きましたら神社総代がお伺いさせて頂きますので、宜しくお願い申し上げます。

開運 泉佐野六社参り

一巡目を迎えて

平成十八年より始まった開運泉佐野六社参りが干支を一巡しました。迎え来る平成三十年より二巡目となります。

泉佐野には神職常駐の神社が八社あります。その内、平成十七年に上之郷の意賀美（おがみ）神社の森川宮司の提案を受け、その趣旨に賛同した神社が参画

しており、巡拝者も年々増えております。泉佐野の神社は、平安時代に編纂された延喜式という書物に記載される、いわゆる延喜式内社や文化財を有する神社が多く、遠い昔から地域の産土神としてお鎮まりになっています。近くに居ながらお参りしたことのない神社もあるかと思えます。「開運泉佐野六社参り」を機に地元・泉佐野の文化を再発見してみませんか？ご近所お友達お誘い合せのうえ是非ともご参加下さい。



開運



巡拝期間

元旦～一月十五日

- ① はじめに氏神・奈加美神社で六社参りの絵馬（五百円）をお求め頂きます。
- ② 残りの五社を巡拝し、参拝印を押してもらいます。（順不同）
- ③ 再度奈加美神社にお参り頂きましたら、六社満願の参拝記念品として開運干支張子を差し上げます。

泉佐野開運六社参り



巡拝距離は約20km

走るもよし ハーフマラソンで**初**走り！
こぐもよし サイクリングで**初**チャリ！
歩くもよし てくてく**初**ウォーキング！
運転もよし マイカーで**初**ドライブ！

六社を巡って泉佐野のええとこ再発見！
六つの鳥居をくぐって開運祈願！

開 開 開 開 開 開

中庄 天神社

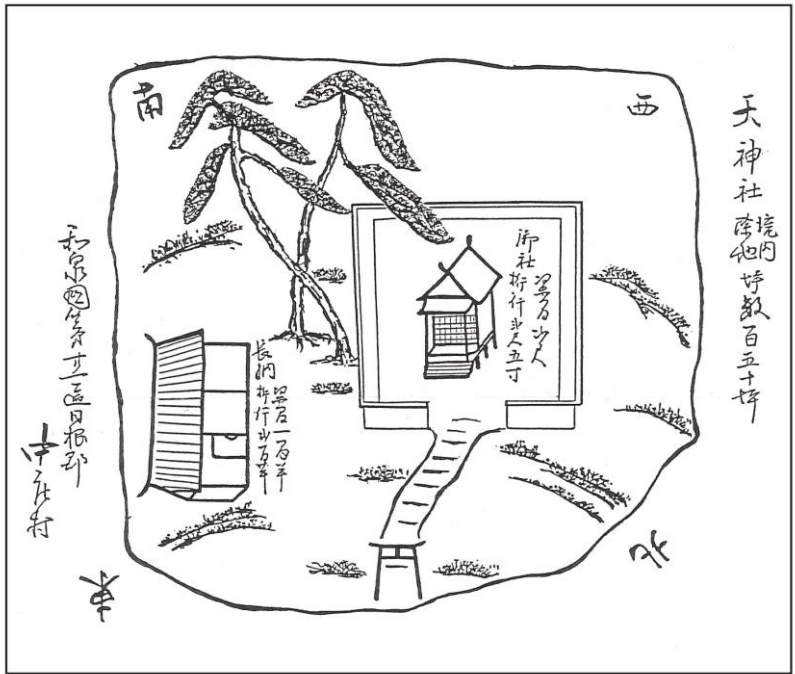
天神社のご祭神は学業の神・菅原道真公です。全国の天満宮にお祀りされる神様で、「てんじんさま」「てんじんさん」と親しまれています。

菅原道真公は平安時代に実在したお公家さんで、当時の一流の学者であり詩人でありました。朝廷の右大臣という役職から九州の大宰府に左遷され、その後お亡くなりになりました。

その頃京の都では皇太子がお亡くなりになり、宮中に落雷するなど社会的に不穏な出来事が続き、道真公の怨霊による出来事と考え、神としておまつりすることによって災いから免れようとした。当初は左遷された怒りや怨念を鎮めるためにおまつりされましたが、時代は下り、道真公が特に学芸に秀でたことから、「学業の神」「受験の神」として広く信仰を集めることとなりました。

全国には天満宮・菅原神社・天神社など、天神さまをおまつりする神社は全国で一万社を超えといわれますが、この奈加美神社にもおまつりされています。今でも地名に残りますが、中庄の天神

山に鎮座した天神さまが明治四十一年に奈加美神社の前身である中庄神社に合祀されています。さらにさかのぼると昔むかしは湊村におまつりされた神様です。神様も時代の変遷により、まつられた当初の意味から転化してご利益が変わっていくこともあります。そこには人々の思いや願いが込められています。もうすぐ受験シーズンです。受験生の皆さん、勉強に励んだ日頃の努力の成果が十分に発揮され、良い結果に導かれますように天神さまへお参りしましょう。合格祈願も受付けたしております。



新しい御守のご紹介

平成三十年のお正月より新しい御守を授与させて頂きます。

病氣平癒金幣錦御守（初穂料一〇〇〇円）



病氣平癒金幣錦御守は白地に金幣をあしらひ、銀糸でみなぎる血潮を表わしています。飾り房がついた上品な御守です。

学業成就御守（初穂料 八〇〇円）



学業成就御守には伝統的な市松模様を用いており、全体的に白×白ですが、一部に青と赤をあしらっています。これは日頃の学業に対する努力が神さまに通じ、その成果、成績が「右肩あがり」になりますようにという願いが込められています。

この他にも毎年参拝者からご要望を頂いております、十二支の根付御守も新調いたしております。

安産戌の日まいり

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）、そして配祭神には母君の神功皇后がお祀りされております。古事記によると約一八〇〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として信仰され、岩田帯の起源にもなったと言われています。



奈加美神社に伝わる大絵馬
円山応挙の門弟により描かれたもので、神功皇后と
応神天皇を抱く武内宿禰。

安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのは犬が多産であり、

安産であることに因みます。

目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂ける腹巻型の腹帯もお授けしております。お電話でのご予約をお願いします。

平成30年 安産戌の日表

1月	6日(土) 18日(木) 30日(火)
2月	11日(日) 23日(金)
3月	7日(水) 19日(月) 31日(土)
4月	12日(木) 24日(火)
5月	6日(日) 18日(金) 30日(水)
6月	11日(月) 23日(土)
7月	5日(木) 17日(火) 29日(日)
8月	10日(金) 22日(水)
9月	3日(月) 15日(土) 27日(木)
10月	9日(火) 21日(日)
11月	2日(金) 14日(水) 26日(月)
12月	8日(土) 20日(木)



ご祈禱のご案内

お宮参り ・ 安産祈願 ・ 七五三
厄除け ・ 車のお祓い ・ 地鎮祭
住宅入居のお祓い、各種お祓い
神道家葬祭 ・ 霊祭、神棚の
相談等も受付致しております
お電話にてお問い合わせ下さい

公式ホームページ開設
<http://www.nakami.org>